



# 「下瀬谷小・日向山小」小規模校 再編検討委員会 NEWS

「第 6 号」  
平成20年11月17日  
発行：検討委員会事務局



## 「第6回」検討委員会 開催

★日時：平成20年11月4日(火)19時から  
★場所：下瀬谷小学校「コミュニティスクール」



### 【次 第】

- 1 開会
- 2 第5回検討委員会の内容説明
- 3 議題
  - (1)新校名について
  - (2)中学校の通学区域について
  - (3)新校の特色づくりについて
  - (4)意見書(案)について



## ～ 決定事項 ～

### ◆新校名について

児童・保護者・地域・教職員を対象としたアンケートを行い、105校名案の応募をいただきました。(下瀬谷小及び日向山小通学区域に10月14・15日に全戸配布。両校でも実施。締め切り日10月28日(火)、応募総校名数207件)

正副委員長で事前協議を行い、正副委員長(案)として5校名を選定し、それをもとに検討委員会で議論を行いました。

最終的に2校名にしぼり、検討委員の方々による投票の結果、

検討委員会として「**瀬谷さくら小学校**」とすることで決定しました。

### {委員長より}

皆様より数多くのご応募をいただきましたことに対し、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。また、平成22年4月より新校として新たな出発を迎える「**瀬谷さくら小学校**」に、更なるご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

### ◆中学校の通学区域について

中学校の通学区域は統合後も**現行とおりの通学区域**とすることに決定しました。なお、今後、教育長あてに提出を予定している意見書には、「将来検討が必要となった場合は教育委員会としても配慮願いたい」旨の内容を盛り込むことにしました。

### ◆新校の特色づくりと意見書(案)について

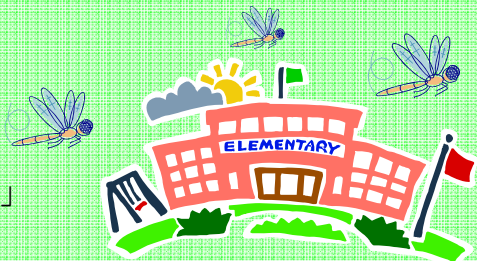
次回、継続検討することになりました。

### ◆次回(第7回検討委員会)の日程

平成20年12月4日(木)19時から日向山小学校「市民図書室」

#### ●議題

- 1 新校の特色づくりについて
- 2 意見書(案)について



## 議題(1)新校名について

### {委員長}

「新校名」に関するアンケートについて、地域の皆様及び両校の児童・教職員の皆様からお寄せいただきました学校名を素材として、検討していきたいと思っております。

### 【事務局よりアンケート結果及び内容について説明】

■応募総校名数207件、有効校名185件、疑問校名2件、無効校名20件となりました。疑問校名及び無効校名については、当初より「下瀬谷小・日向山小」の名前が入っている校名は審査の対象から外すということもあり、校名が一部に入っている場合でも対象外とさせていただきます。また、既に存在する校名、他地区・他地域に類似する校名、アニメ等に関する校名についても対象外とさせていただきました。

### 公募によりいただきました学校名(有効校名)

【票数の多かった校名案(○は票数)】※紙面の都合上2票以下の校名については省略いたしました。  
桜小⑰、下山(しもやま)小⑰、日向瀬谷小⑱、瀬谷第三小⑨、下日向小⑥、仲良し小⑥、二葉小⑤、瀬谷第一小④、第四小④、ひまわり小④、下瀬山小③、瀬谷泉小③

### {委員長}

アンケート結果で新校名案が105校と数多くいただきましたので、お寄せいただいた新校名案をもとに正副委員長で事前に協議し、新校名候補5校名を選抜させていただきました。これ以外にも皆様方から新校にふさわしい学校名がありましたら、ご意見をいただくという進め方で良いでしょうか。(了承)

新校名に関する「正副委員長（案）」 ※お寄せいただきました校名案の一部を変更させていただきました。

<新校名候補>	<理 由>	<アンケート結果>
1 瀬谷さくら小学校	・桜だけでは場所が特定できない ・ひらがなにすることによって親しみを感じる	桜小学校 17票
2 瀬谷いずみ小学校	・漢字で統一するよりひらがなを入れると読みやすい ・両区を含む一体感を表す ・「いずみ」は友情などが湧き出るイメージ	瀬谷泉小学校 3票
3 絹瀬（きぬせ）小学校	・横浜港発展に大きな役割を果たした絹にゆかりの地 ・瀬谷区にはいくつかの製糸工場があった	絹瀬小学校 2票
4 瀬谷のぞみ小学校	・ひらがなにすることによって、親しみを感じる ・明るい未来を感じさせる	瀬谷望小学校 1票
5 みどりの丘小学校	・現在の両校の校歌に共通して「緑の丘」「みどりの丘」が歌詞にあるから	みどりの丘小学校 1票

【意見】私は先ほどまで、瀬谷第三小学校という名前が良いのではと考えていたが、応募件数が一番多かった「桜小学校」も良いと思う。しかし「桜」だけでは淋しく感じると、場所の特定ができないことから、正副委員長（案）の「瀬谷さくら小学校」が良いと思う。

【意見】「新かまくら道小学校」という校名を提案する。現在の鎌倉道は別の道であるが、環状4号線が出来たのでそれを新しい鎌倉道とするのも良いのではと思い提案した。また、正副委員長（案）で出ている「瀬谷いずみ小学校」も良いと思う。理由は日向山小学校には泉区の児童が多くおり、統合することによって両区が一つの学校となるため良いと感じた。

【意見】二つの学校が合わさって新しい学校とのことなので、行政区がまたがっている通学区域があることから、「瀬谷いずみ小学校」が良いと思う。

【意見】この地域は比較的桜の木が多いことから地域の特性を生かしており、呼びやすく親しみやすい名前の「瀬谷さくら小学校」を推薦する。また、「瀬谷のぞみ小学校」は、新しい学校のイメージを感じさせ、明るい未来を創造させる名前ではないかと思う。両方とも教育の場にふさわしい学校名であると思う。

【意見】瀬谷区にある学校なのに、なぜ「瀬谷いずみ小学校」なのか。泉区の名前をここに入れる必要はないと思う。

【意見】「みどりの丘小学校」という名前が良いと思う。現在の両校の校歌に共通して入っていることから、両校が同じようなイメージで学校運営が行われてきたのではないかと思う。また、下瀬谷・日向山地域を特定していない新しい学校のイメージを感じるので推薦する。

【質問】応募があった<sup>せやせいし</sup>「瀬谷勢至小学校」を候補に入れてほしい。また、事務局に質問だが、「桜小学校」というのは子供達の提案なのか、保護者や地域からの提案なのかそれぞれ何票あったのか教えてほしい。

<回答（事務局）>「桜小学校」は17票で、両校の児童及び保護者・地域の全てからお寄せいただいております。各票数については、資料を持ち合わせておりません。

【質問】正副委員長（案）の学校名で「瀬谷」を入れている理由はなにか。

<回答（事務局）>「桜」だけですと、所在地がわからないということもあって「瀬谷」を入れました。頭に瀬谷を入れて漢字をひらがなにすることによって、優しいイメージに変更しました。学校名に地名を入れるか入れないかについてもご議論いただければと思います。

【意見】「みどりの丘小学校」は、丘にある学校をイメージするが、現在の下瀬谷小学校は丘にあるわけではないので、外したほうが良いと思う。また、「みどりの丘」というと終戦後に流行った歌を思い出させるイメージもあるので、ふさわしくないと考える。

【意見】「絹瀬小学校」という名前は児童にとって、言いにくいと思う。「瀬谷のぞみ小学校」についてもふさわしくないと考えた。最終的には「瀬谷さくら小学校」が良いのではないかと。

正副委員長（案）と「新かまくら道小学校」「瀬谷勢至小学校」の計7校について検討を行いました。その中で、「みどりの丘小学校」より「瀬谷みどり小学校」が良いのではという案が出され、協議した結果、「瀬谷さくら小学校」「瀬谷いずみ小学校」「瀬谷みどり小学校」「瀬谷のぞみ小学校」の4校にしぼりました。

【質問】現在、瀬谷区に小学校が何校あって、「瀬谷」と入っている学校は何校あるか。

<回答（事務局）>瀬谷区には12校の小学校があり、「瀬谷」が付いている学校は5校となっております。

<回答（委員長）>「瀬谷」が付いていない学校名は、三ツ境小、二つ橋小、阿久和小など、地域名がついています。あえて「瀬谷三ツ境小」と付ける必要がないのだと思います。

【意見】「瀬谷」を付けるかどうか、通称の呼び方等も含めて考えたほうが良いと思う。

【質問】緑区に緑小学校というのがありますが、「瀬谷みどり小学校」とすることは問題ないのか。  
【回答（事務局）】児童の皆さんが通称で「みどり小」と呼ぶようになって、地域の学校ですから区別できるのではないのでしょうか。

【意見】「岡野中学校」や「岡津中学校」などは、どちらも「岡中」と呼んでいるので地域が離れていれば問題ないと思う。また、今回公募によって数多く学校名が出されているなかで、投票数の多いところも考慮する必要があると思う。

【意見】横浜市立の学校ということなので、地名にこだわらず「瀬谷」を付けなくて「横浜市立〇〇小学校」としたほうが良いのではないかと思う。地名にこだわることもわかるが、統合して新しい学校となるので地名はいらないと思う。

【意見】仮に「さくら小学校」とすると、大和市にある桜丘小学校が思いついてしまう。それと区別するためには、「瀬谷さくら小学校」が良いと思う。「みどり小」もそうだが、地名にこだわるということではなく、区別を付ける意味では「瀬谷」を付けたほうが良いと思う。

4校について委員のみなさんにお諮りした結果、「瀬谷さくら小学校」「瀬谷みどり小学校」の2校を残しました。  
委員長より、最終決定の学校名については、投票で決めたい旨の説明があり、委員全員の了承をいただきました。  
投票の結果「瀬谷さくら小学校」14票、「瀬谷みどり小学校」10票、無効票 2票となり、「瀬谷さくら小学校」に決定しました。

## 議題(2) 中学校の通学区域について ※前回に引き続き、中学校の通学区域について検討



【質問】特別調整通学区域について、これを設定する条件は各学校によって違うのか。  
【回答（事務局）】「特別調整通学区域」は、一つの学校の通学区域内において、地域の一部に、既に決まっている指定校のほかに他の学校（近隣校）も選択できる制度で、受入校の受入能力（保有教室数）に余裕があるかどうか条件になります。そのエリアの新1年生となる児童・生徒に対して区役所より、どちらの学校を選択しますかというハガキが郵送されますので、希望する学校を選んで返送するだけの手続きとなります。

【質問】両校の通学区域内に「特別調整通学区域」はあるか。  
【回答（事務局）】日向山小の通学区域外で、指定校が原小で受入校が日向山小というエリアが宮沢四丁目の一部に設定されています。下瀬谷小の通学区域内には、受入校が瀬谷第二小となっているエリアが下瀬谷二丁目・三丁目の一部、南瀬谷小となっているエリアが南瀬谷一丁目の一部に設定されています。中学校については、特別調整通学区域はありません。

【意見】どちらの中学校も自由に選べるようにして、今後、それが問題となればその時に変えれば良いのではないか。

{委員長}  
●前回、各中学校長より意見をいただきましたが、改めて何かお話がありましたら、お考えをお聞かせいただきたい。

【村上下瀬谷中学校校長】これまでの学区でよいと思っております。指定校以外に通学できる制度としては、指定地区外就学許可制度があり、条件として個別の事情（身体的な面や部活等）が必要ですが、下瀬谷中及び南瀬谷中は、施設面で受入が可能であるため、校長として、ゆるやかな判断で対応しています。特別調整通学区域を設定すると、毎年、受入人数の掌握が難しい面もあり、学校運営的にも難しくなるため、両中学校としてはこれまでどおりの通学区域を希望しております。

【意見】統合して一つの学校になっても、日向山小学区・下瀬谷小学区というのが残るのか。一つにできないものか。日向山小に入る来年の児童は10名～15名程度と思うが、その子たちが、統合校を卒業したときに、友達と別れ別れになって、少人数で南瀬谷中に通うのはかわいそうな感じがする。統合校の指定する中学校を一つにするべきではないか。

【意見】過去に「日向山小」設立時の卒業生が、指定校である「南瀬谷中」に行かずに「いずみ野中」に行った経緯があった。しかし翌年には全員が「南瀬谷中」に来た。その頃の地域としての考え方や保護者の考え方はあったと思うが、地域運営に携わる方々は大変な思いをしたようだ。現在では、指定地区外就学許可制度で、先ほど村上校長も話されたとおり、希望の学校に行きたい場合には対応も可能とのことなので、これまでどおりの学区が良いと思う。将来的に一つの中学校とすることが望ましい時期があれば、その時に検討すれば良いと思う。

【質問】検討委員会に寄せられたEメール（P4に記載）についてはどうなるのか。  
【回答（事務局）】通学区域の弾力化ということで、①特別調整通学区域はその地域に設定することによって、希望する学校を選択できる、②指定地区外就学許可制度は児童・生徒の個別の事情により、指定校と希望する学校の校長の許可が必要になります。この二つの制度をどのように中学校に適用していくのか、あるいはこれまでどおりとするのかも含めてご議論いただければと思います。

{委員長}

●統合校の第1期の卒業生は平成23年3月になる。ここで決めたことが将来問題が出ないとも言い切れない重要な問題ですので、先々のことを今決めるということではなく、まずは現状のままですスタートすることとし、その後、地域や保護者から変更等の要望がありましたら、教育委員会としても特段の配慮をお願いします等々の文書を意見書に盛り込んでおくという考え方もあろうかと思えます。

- ・これまでどおりの学区
- ・それぞれの中学校を選択できる(特別調整通学区域の設定)

以上、意見が多かった2通りの案のいずれかを挙手で決定したいと思えますがいかがでしょうか。(異議なし)

- ①これまでどおりの学区 14名
- ②それぞれの中学校を選択できる 9名

ありがとうございました。それでは検討委員会としては、①案に決定します。なお、先ほど申し上げたとおり、意見書に変更等の要望があれば検討していくことを盛り込んでいきたいと思えます。

### 議題(3)新校の特色づくりについて<次回継続検討することです承>

※両小学校長を代表して古川下瀬谷小学校校長より「新校の特色づくり(案)」について説明がありました。

#### <新校の特色づくりについて>

◆市立学校では、一人ひとりの子どもにしっかり教え、しっかり引き出す指導を通して「知・徳・体・公・開」で示す「横浜の子ども」の教育をめざしています。新校においても、互いの学校のこれまでの教育活動をふまえ、この方向に進んで行く予定です。

◆自分を大切にできる子・人とのつながりを意識できる子の育成を大前提に①コミュニケーション能力の育成②情報教育の推進 ③基礎基本の定着等を考えています。

◆保護者・地域の声を踏まえて進めていきます。

- ・「いつも元気なあいさつ」で「友だちとの友情を大切に」にし「常に感謝」の気持ちを忘れない児童に育ててほしい。
- ・お互いを思いやれる児童に育ててほしい。
- ・自分の意見をしっかり表現できる児童に育ててほしい。
- ・他の人の意見を尊重できる児童に育ててほしい。
- ・学校と地域が一体となって支え合える組織づくりを進めてほしい。
- ・学校は地域の皆さんに親しまれ、地域と共に歩む学校づくりに努力願いたい。

庄子校長ともこれまで以上の連携を図りながら、詳細を詰めていきたいと思っております。

#### 原教育委員会事務局小中学校教育課指導主事より

現在の両小学校の特徴は、地域と学校が一体となったすばらしい学校であり、このパワーは「瀬谷さくら小学校」となっても確実に支えになっていくものと考えます。また、このことが1つの大きな特色になると考えます。統合後も、これまで両校が積み重ねてきた取組を合わせたところで、更に地域の皆様のお力をいただきながら、強化されていくと考えます。教育委員会としても、全力で協力していきますので、委員の皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

### 議題(4)意見書(案)について

※事務局より、意見書(案)の提示がありました。詳細については次回検討することです承されました。

#### 検討委員会に寄せられたEメール

平成20年11月3日

中学校の通学についてはある程度、選択をさせては頂けないでしょうか?

現在、日向山小に通う子供は新校で卒業を迎えることとなります。下瀬谷小の新しい友人とすぐに中学校で離れてしまうのが寂しく感じます。兄・姉はいませんので南瀬谷中への拘りはありません。

実際に中学校に通う事になる子供達や関わりを持つ親達は、むしろせっかく出来た新校での新しい友情・付き合いを大事に続けて行きたいと望んでいます。

統合に際し、日向山小の子供達の中で、無条件に喜びながら新校(現下瀬谷小)に通う子は少ないと思えます。でも、新しい友人や環境が素晴らしいものであると、出来るだけ前向きに考えられるよう、家庭で話をしながら統合を待ち望んでいます。

地域の方にも色々なお考えがあるとは思いますが、再編統合が実際に通学する子供達、また家庭にとってより良い事態となるよう、ご配慮と熟考を宜しくお願い致します。

#### 【次回「第7回」再編検討委員会の日程】

★平成20年12月4日(木) 19時から 日向山小学校「市民図書室」



「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧いただけます。

・基本方針など <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>

・「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/kadaikibo/index4.html>



「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会は、常に皆さまからのご意見をいただいております。

FAXかEメールにて、事務局までご連絡ください。

\*検討委員会事務局\*

横浜市教育委員会事務局学校計画課

FAX : 045-651-1417 / Eメール : ky-seya@city.yokohama.jp / TEL : 045-671-3253

